

CASE STUDY 43



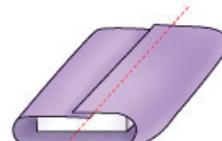
キャラメル包みD



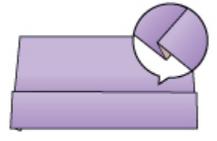
① 右端を1cm程度化粧折ります。



② 箱を中心に置きます。



③ 左、右の順に紙を合わせます。



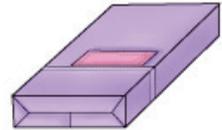
④ 紙を裏返し、3cmほど山折りをします。山折りの幅がポケットの深さになります。



⑤ さらに浅く山折りをするとポケットが二重になり、見栄えがよくなります。



⑥ 紙を裏返し、中央に箱を裏返して置き、左、右の順に紙を合わせてテープで留めます。



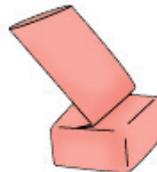
⑦ 両端をキャラメル包みの要領で留めれば、完成です。



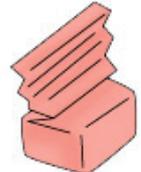
扇形包み



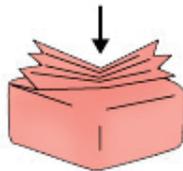
① キャラメル包みをした紙の片方を、箱の上部で中央に寄せ、箱との幅の差の部分を斜めに折りあげていきます。



② 上部に残った紙に折り筋をつけます。箱の中心線から手前に紙を折りたおし、1cm幅くらいで折り返します。



③ 折り返した紙を箱の中心線から奥に1cmのところの手前に折り返し、2cm幅の蛇腹折りを繰り返して仕上げます。



④ 中途半端に残った紙は裏に折り返します。蛇腹の中心を押さえて形を整えてから、リボンを掛けます。



⑤ 蝶結びをして完成です。



今回使用した
ラッピング用品

掲載商品に付いては諸事情により予告なく製造中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

キャラメル包みD

- ① 35-1962 (ロール包装紙 ハート柄セット)
- ② 5-8302 (リボン)

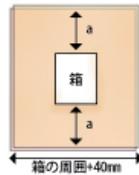
扇形包み

- ① 35-1962 (ロール包装紙 ハート柄セット)
- ② 50-8200 (リボン)

CASE STUDY 43



不織布ラッピングC

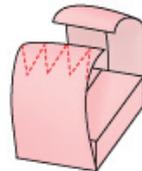


紙の横の長さは、左右の紙で包みこんだ時に約40mm重なりができるようにします。
aは、箱に沿わせて紙を起こした時に、箱が隠れる程度の長さが必要です。
後に両端をギザギザに切るので、大きめに取っておくと安心です。

- ① 不織布を2枚準備し、同じ大きさに切ります。



- ② 中央に箱を置き、左右の順で紙をかぶせます。



- ③ 箱に沿わせて紙を起こします。紙の端をギザギザに切ります。



- ④ 両端を中央に寄せます。細いリボンで根元をきつく縛ります。



- ⑤ 中を広げて、形を整えれば完成です。



今回使用した
ラッピング用品

掲載商品に付いては諸事情により予告なく製造中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

不織布ラッピングC

- ① 35-530 (不織布-ピンク)
② 35-560 (包装紙)
③ 50-8322 (リボン)